



第35回 市教組定期大会、開催される！NO.9

「総括討論」です。



【小倉総合特別支援学校 碓山代議員による総括討論】

総括討論では、4年間執行委員を務めた経験を踏まえ、「賃金・労働条件の改善」「組織拡大・強化」「平和を守るとりくみ」の3点について発言が行われました。

まず、教育委員会や人事委員会との交渉を通じて、事務職員の処遇改善やベースアップ、子育て支援休暇の拡充、高齢者部分休業制度の改善など、多くの成果が実現してきたことが紹介されました。特に、障害のある子どもを育てる教職員が利用しやすい制度へ改善された事例を挙げ、「現場の実態を丁寧に集め、根拠を持って交渉することが制度改善につながる」と組合活動の意義を強調しました。一方で、業務改善プログラムが示されても教員不足や煩雑な事務作業などにより、学校現場の多忙感は依然として解消されておらず、業務削減や教職員定数の改善を引き続き求めていく必要性を訴えました。

続いて組織拡大については、「数の力」が交渉力につながることを強調。新規加入者が増えている現状を踏まえ、一人ひとりへの声かけや教研集会、各種セミナーを通じて組合活動を広く発信していくことの重要性が語られました。また、分会会議や分会長会などで職場の課題を共有し、執行部や教育会館と連携しながら課題解決を図ることが、組織の強化と働きやすい職場づくりにつながるとの考えを示しました。

平和運動については、世界各地で戦争が続き、国内でも憲法改悪の動きが強まる中、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを改めて大切に、平和のつどいや学習会などへの参加を通して学び続ける必要性が訴えられました。自身の故郷・奄美大島の戦争体験や、日本復帰運動を教職員組合が中心となって支えた歴史にも触れ、「現地に足を運び、自ら学び、事実を次世代へ伝えていくことが平和を守る力になる」と語りました。

最後に、「現状を当たり前と思わず、おかしいことには声を上げ続けることが大切である。組合活動は組合員だけでなく、すべての教職員のためにつながっている。一人ひとりができることから行動し、仲間とのつながりを広げよう」と呼びかけ、討論を締めくくりました。



大会では、2025年度決算・総括、2026年度運動方針・予算、県教協委員会に臨む態度が承認され、新たな一歩を踏み出しました。最後に新規加入組合員の田中優馬代議員が大会宣言を読み上げ、大きな拍手で採択。

続いて古田執行副委員長は、「現場を変える力は、一人ひとりの声かけと仲間とのつながりにある」と訴え、「組愛力」を合言葉に組織拡大への決意を呼びかけました。また、市教組の新しいロゴマークも発表され、参加者全員で未来への思いを共有しました。

大会の締めくくりは、会場いっぱいに響き渡った「団結がんばろう!」の声。仲間とともに歩み、学び合い、支え合う市教組の新たなスタートとなる大会となりました。本大会で確認した方針のもと、組合員の声を大切にしながら、誰もが安心して働き続けられる職場づくりと、組織のさらなる発展に向けてとりくみを進めていきます。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

/// JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

